

1. 上位計画

<中地区の基本方針> 池畔の「えん」

<景観形成・整備方針>

○向井池を回りながら、樹林地・水面・水空間等が織り成す多彩な風景や色々な出会いを楽しめる水辺景観づくり（樹林地・微地形を生かした広場、周遊回廊、親水空間、トイレ等の活動を支援・誘発する空間・施設の整備等）を図る。

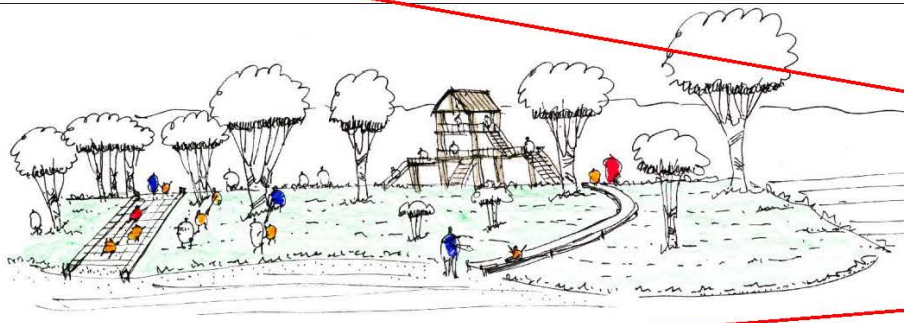
遊び・学びの「えん」を支える景を創る

<明るい森との出会いの景を創る>

※中央丘陵や入り江は、美しい緑の空間に再生していくことが基本になる。落葉広葉樹主体の「明るい森」をはじめ、多彩な森の形成を目指す。

- 棚田跡／「樹林広場」＋「天空の森」
- 谷筋空間／「眺望の森」
- 入り江／「水辺の森」

■西尾根、岩の計画イメージ



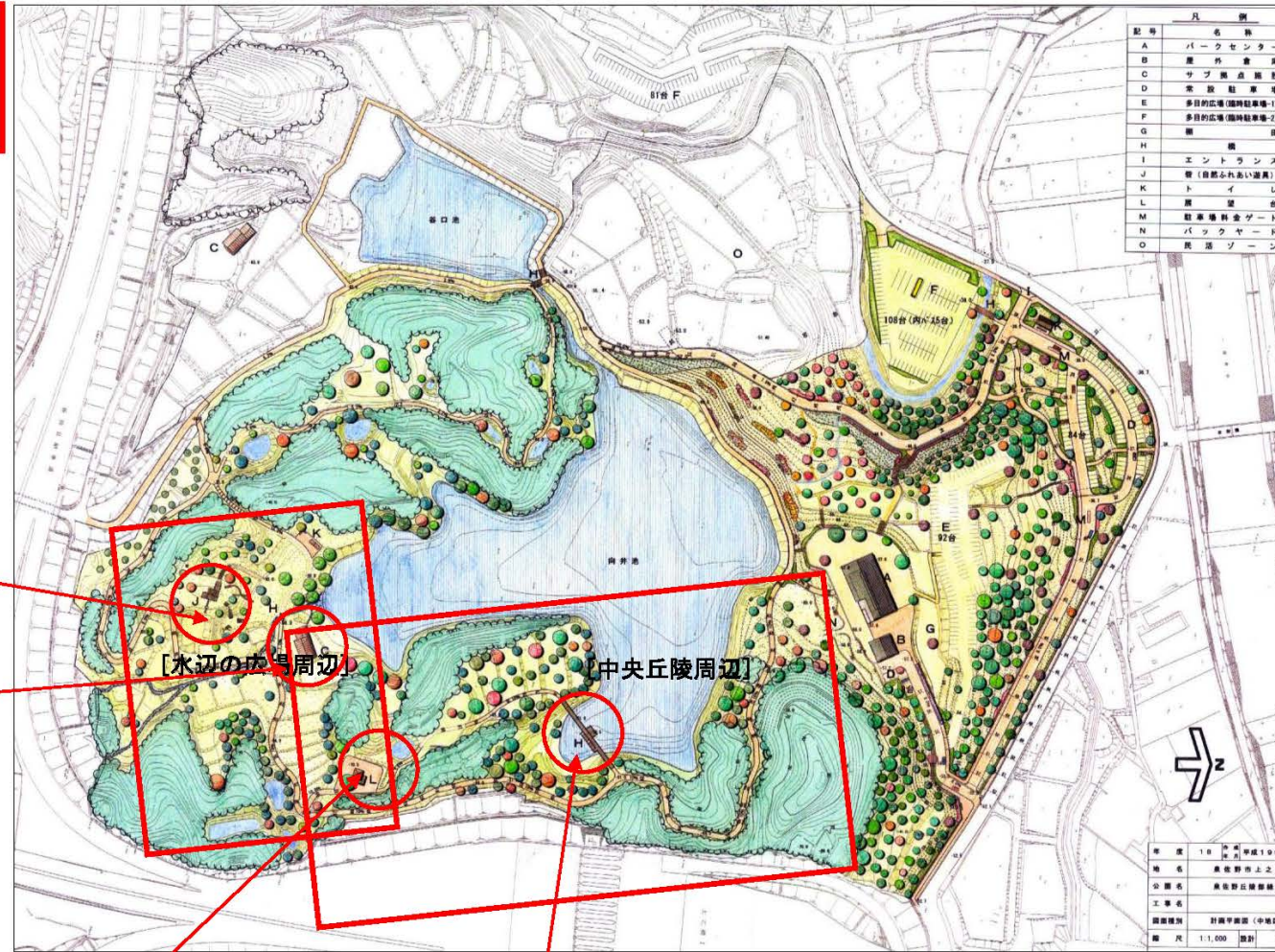
■サブ拠点、水辺のデッキの計画イメージ

・水生自然の学び・ふれあいの「えん」を支える「水辺のデッキ」等



■施設規模

- ・建築面積：約 100 m<sup>2</sup>
- ・6人掛け×6セット=36人（学校1クラス弱に対応）
- ・テーブル無しの場合 70~80人程度の利用が可能



記号	名称
A	パークセンター
B	屋外倉庫
C	サブ拠点施設
D	常設駐車場
E	多目的広場(園路駐車場-1)
F	多目的広場(園路駐車場-2)
G	園路
H	橋
I	エントランス
J	壁(自然ふれあい遊具)
K	トイレ
L	展望台
M	駐車場(観音堂側)
N	バックヤード
O	遊歩ゾーン

年度	19	平成19年
地名	高尾野市上之郷	
分類名	高尾野公園緑地	
工事名		
図面種別	計画中期図(中地区)	
縮尺	1:1,000	設計

明るい森との出会いの景を創る

<遊び・学びの「えん」を支える景を創る>

※水面から地上へのエコトーン(移行帯)のある水辺空間、多くの人が自然の中で遊び・くつろぎ・学ぶ等の「えん」を支える景の創出・育成につなげる。

- 水生自然の学び・ふれあいの「えん」を支える「水辺のデッキ」等の整備
- 各種の「えん」を支える樹林整備
- 各種の「えん」を支える「サブ拠点施設(向井池水辺の講堂)」の整備



・東尾根、棚田跡の状況



・入り江の状況

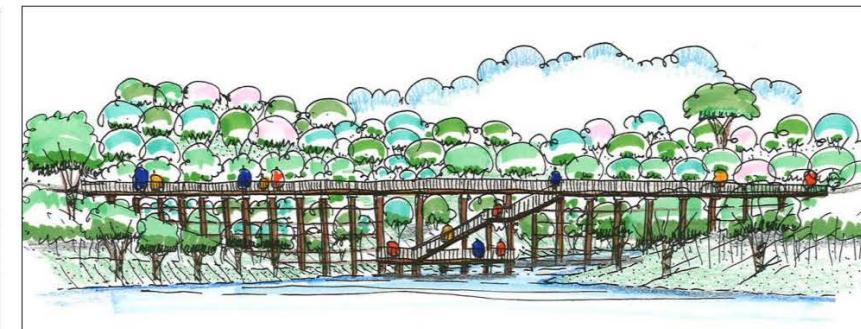
■東尾根、棚田跡の計画イメージ

・棚田跡／「樹林広場」＋「天空の森」



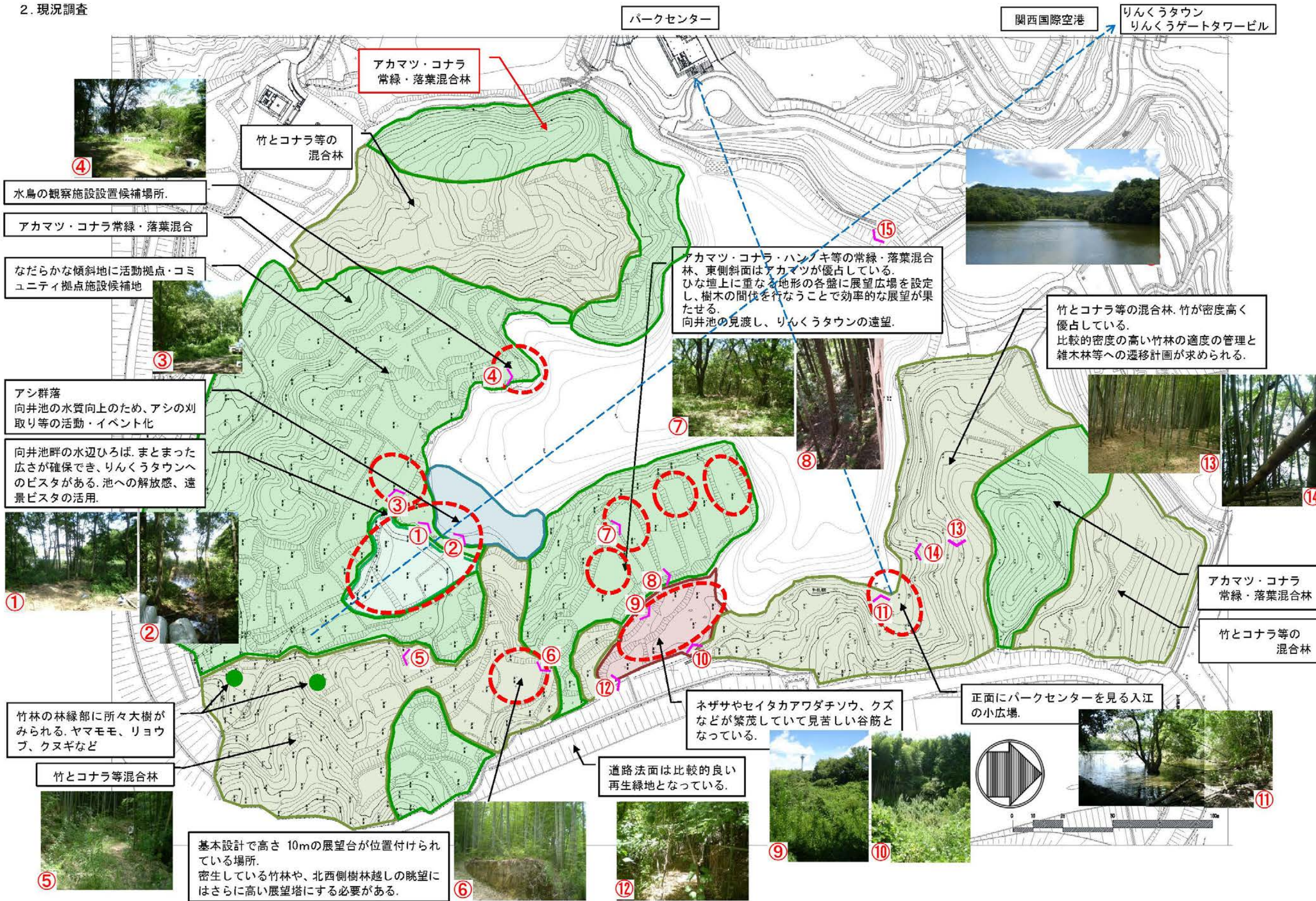
■入り江の計画イメージ

・入り江／「水辺の森」





2. 現況調査



④ 水鳥の観察施設設置候補場所。

アカマツ・コナラ常緑・落葉混合

なだらかな傾斜地に活動拠点・コミュニティ拠点施設候補地



③

アシ群落 向井池の水質向上のため、アシの刈取り等の活動・イベント化

向井池畔の水辺ひろば。まとまった広さが確保でき、りんくうタウンへのピスタがある。池への解放感、遠景ピスタの活用。



①

②

竹林の林縁部に所々大樹がみられる。ヤマモモ、リョウブ、クヌギなど

竹とコナラ等混合林



⑤

基本設計で高さ 10mの展望台が位置付けられている場所。密生している竹林や、北西側樹林越しの眺望にはさらに高い展望塔にする必要がある。



⑥

道路法面は比較的良い再生緑地となっている。



⑫

ネザサやセイタカアワダチソウ、クズなどが繁茂して見苦しい谷筋となっている。



⑨

⑩

正面にパークセンターを見る入江の小広場。



⑪



0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100m



⑦



⑧



⑬



⑭

竹とコナラ等の混合林。竹が密度高く優占している。比較的密度の高い竹林の適度の管理と雑木林等への遷移計画が求められる。



⑮



3. 空間・活動イメージゾーニング図

